

(1) 工事コストの低減

③ 設計方法の見直し

免震装置下部架台の構造変更

¥

【施策の概要とポイント】

既存建築物の免震化を図る工事（免震レトロフィット）において、従来の免震装置を受ける架台は、上部建築物の荷重を杭に伝達するため、ある程度厚みのある鉄筋コンクリート造の架台とする必要がありました。この部分に鉄骨部材を組み入れることにより架台厚さを低減することができ、コンクリート及び鉄筋量、根切り量、残土処分、山止め壁などが削減され、コスト縮減が可能となりました。

これにより、本工事において従来の施工方法に比べて縮減率では 13.7%、縮減額合計では約 1 億 4 千万円のコスト縮減が図られています。

【施策の実施状況・イメージ図】

